



医療・介護関係者の皆様へ

平素より三田市在宅医療・介護連携支援センターの運営にご協力・ご理解いただきありがとうございます。三田市在宅医療・介護連携支援センター通信 第16号を発行いたしましたのでご覧ください。

【開催した研修会について】

10/21(土)14:00-16:00 恒生かのこ病院にて

「令和5年度 第1回チーム有馬郡合同研修交流会」開催いたしました！

今年度のテーマ：**地域包括ケアシステムの基本のキを学ぼう**

チーム有馬郡とは・・・

旧有馬郡地域(神戸市北区北神地域、西宮市北部地域、三田市の大部分)で働く医療介護関係者を連携を促進するための、北区医療介護サポートセンター・西宮市北部在宅療養相談支援センター・三田市在宅医療介護連携支援センターのコーディネーターの集まりです。

【主な内容】

- 1、地域包括ケアシステムについて
講師：兵庫県福祉部高齢政策課地域包括ケア推進班 滝原幸雄氏
- 2、各市の地域包括ケアシステムの現状と課題について
各市担当者より
- 3、各市の入退院支援ルールについて
- 4、グループ交流会



参加された方は今回50名を超え、アンケート結果からも8割以上の方に満足いただけました。もっと地域包括ケアシステムについて知りたいというお声も多く、次年度も同じテーマで研修を企画していく次第です。次回のご参加もお待ちしております。

※今回の研修は、〆切前に募集を終了いたしましたので、限定的に動画を配信しております。視聴希望者の方は、当センター079-565-8766までご連絡ください！！

課題抽出ワーキングより共有したいこと

連携をはじめる前に・・・

三田市の入退院支援場面での連携は「[三田市入退院支援ルール](#)」に基本が記載されています。まずは、三田市役所および当センターのホームページでも確認できますので確認してください。下記より確認できます。

三田市在宅医療・介護連携支援センターホームページ
<https://renkei-sanda.hyogo.jp>



時間のある時に、じっくり内容を確認してください。

10/11(水)の課題抽出ワーキング

「入退院時の情報共有について」多職種にて意見交換をしました。
その中で、地域の専門職に知っておいてもらいたいことをまとめてみました。

●情報提供の方法について

- ①入院時の情報提供時は、できるだけ持参かオンライン面談をしましょう。
- ②病棟の看護師にも、入院時情報提供シートの存在を知ってもらおう。
- ③ケアマネジャーは、訪問看護師の情報を有効活用しよう。
- ④入院の事実を知った人は、待たずにすぐに連絡しよう。
- ⑤病院は、退院時にケアマネジャーを窓口で情報提供をしましょう。
- ⑥退院時の情報提供がなければ、入院先の連携室に尋ねよう
- ⑦ケアマネジャーは、必ず利用するサービス担当者に退院時の情報提供しよう。
- ⑧かかりつけ医だけでなく、かかりつけの歯科医や薬局も意識して情報提供しよう。

●情報提供の内容について

- ①入院時には、その人らしさを支えるケアや治療のために重要なので、その人の考え方や趣味興味、家族関係、経済状況などを分かる範囲で提供しましょう。
- ②退院後の目標設定をするために、在宅での生活状況、介護保険サービス利用状況、家屋状況などはできるだけ提供しましょう。
- ③入院時情報提供シートの内容から大きく変化する場合、変化点を強調して情報提供しましょう。
- ④退院時のサマリーの書式が病院ごとに違うことを認識し、連携室との面談やカンファレンスで情報の補強をしましょう。
- ⑤ケアマネジャーへの情報提供は、客観的事実に加え、医療的なアドバイスも含めるとより良いケアプランを立てる事ができます。



連絡事項：

ホームページ等の医療介護資源情報に変更などがございましたら、いつでも当センターへご連絡ください。またホームページ上にも、情報変更用紙がございますので、それを用いてFAXにてご提示いただいても結構です。ご協力よろしくお願いいたします。